

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍のため、地域との交流が乏しい。地域から見て、利用者が施設でどのような生活を送っているのかイメージしにくいと思われるので、開かれた施設にする必要がある。	地域で行われている、コミュニティセンターでの催事に、利用者とともに赴く。催事を通じ、利用者の気分転換を図ると共に、地域の方に施設での生活を知っていただく。	コミュニティセンターで毎月行われているサロンに、利用者と共に参加する。	12ヶ月
2	14	同業者との交流があまりなく、同法人間による情報収集しか行っていない為、今後は事業所連絡会の参加にも積極的に参加したい。	同業者や地域包括支援センター、居宅支援事業所等との横のつながりを強くする。	昨年に比べ、地域包括主催の事例検討会に参加する機会は増えた。今後は事業所連絡会の研修等に積極的に参加する。	6ヶ月
3	35	施設の立地上、線状降水帯やゲリラ豪雨などが起きると建物が浸水することがある。夜間帯にそのようなことが起こると、夜勤者が1名で対応しないといけないことも。	職員一人一人が水害時に対処出来るようになる。	浸水対策の止水パネルを導入したので、新入職員も使用出来るように、雨の多い梅雨～秋以外でも、年間を通して定期的に水害対策の研修を行う必要がある。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。